

3 - 2 受託研究

民間等との共同研究

1) 平成20年度（2008年度）

年度	研究担当者	研 究 題 目	機関名	受託料
20	小西 克明	金クラスターの包接化と触媒特性	(独) 科学技術振興機構	8,580,000 円
20	山中 康裕	海洋生態系将来予測のための海洋環境シミュレーション研究：海洋生態系－水産資源シミュレーション技術開発	(独) 科学技術振興機構	23,400,000 円
20	大原 雅	シーサイドパーク地区における森林環境の現況	広尾町	300,000 円
20	山田 幸司	文部科学省知的クラスター創成事業「さっぽろバイオクラスター構想 Bio-S」（消化管機能評価による機能性食品素材開発）	(財) 北海道科学技術総合振興センター	12,000,000 円
20	山中 康裕	平成20年度気候変動シナリオに基づく海洋環境・水産業の未来像の抽出委託業務	(独) 国立環境研究所	13,000,000 円
20	山中 康裕	高解像度大気海洋結合モデルによる近未来気候変動予測に関する研究（文部科学省研究開発局と東京大学との委託業務「高解像度気候モデルによる近未来気候変動予測に関する研究」の再委託）	国立大学法人東京大学	9,999,999 円
20	谷本 陽一	中緯度大気海洋系10年スケール変動の再現性とその将来変化に関する研究	国立大学法人東京大学	9,541,000 円
20	藤原 正智 長谷部 文雄 山崎 孝治	平成20年度成層圏プロセスの長期変化の検出とオゾン層変動予測の不確実性評価に関する研究委託業務	(独) 国立環境研究所	12,207,000 円
20	平川 一臣	平成20年度原子力安全基盤調査研究（南海トラフの地震の多様性解説に関する地質学的研究）	(独) 原子力安全基盤機構	6,998,717 円
20	長尾 誠也 玉村 修司	溶存有機物の核種移行への影響取りまとめ	(独) 産業技術総合研究所	5,000,000 円
20	山中 康裕	解像度オフラインモデルを用いた、CO2海洋隔離のサイト設定に関する研究	(財) 地球環境産業技術研究機構	2,200,800 円
20	山中 康裕	沖合域における海洋生態系モデルの高度化と水産業への温暖化影響評価技術の開発（全球低次生態系モデルを用いた温暖化シナリオ化における境界条件の算出）	(独) 農業環境技術研究所	3,006,000 円
20	東 正剛 北西 滋	イタセンバラのミトコンドリアDNA分析	氷見市	400,000 円
20	古月 文志	平成20年度地域イノベーション創出研究開発事業「カーボンナノチューブのコーティング技術による新規導電繊維の研究開発」	(財) 科学技術交流財団	1,976,100 円

20	神谷 裕一	水中の硝酸等窒素酸化物除去触媒の検討	茨城県霞ヶ浦環境科学センター	1,000,000 円
20	長尾 誠也	原位置における有機物特性データ取得	(独) 日本原子力研究開発機構	3,000,707 円
20	藤原 正智	二酸化炭素モニタリング用超小型計測装置	矢崎総業株式会社技術研究所	3,055,000 円
20	森川 正章	寒冷条件に対応した次世代汚染土壌修復技術の開発～未利用資源を熱源とした加速型バイオレメディエーション～	明治コンサルタント(株)	1,575,000 円
20	堀之内 武	地球観測データに関する可視化手法検討	富士通エフ・アイ・ピー株式会社	544,761 円

2) 平成21年度(2009年度)

年度	研究担当者	研 究 題 目	機関名	受託料
21	小西 克明	金クラスターの包接化と触媒特性	(独) 科学技術振興機構	2,080,000 円
21	山中 康裕	海洋生態系将来予測のための海洋環境シミュレーション研究: 海洋生態系-水産資源シミュレーション技術開発	(独) 科学技術振興機構	25,409,800 円
21	大原 雅	シーサイドパーク地区における森林環境の現況	広尾町	300,000 円
21	山田 幸司	新規蛍光ソルバトクロミック色素の実用化研究	(独) 科学技術振興機構	1,300,000 円
21	藤原 正智	二酸化炭素モニタリング用超小型計測装置	矢崎総業株式会社 技術研究所	637,000 円
21	山田 幸司	文部科学省知的クラスター創成事業「さっぽろバイオクラスター構想 Bio-S」(消化管機能評価による機能性食品素材開発)	(財) 北海道科学技術総合振興センター	15,000,000 円
21	岩花 剛	凍結融解作用を受ける斜面の崩壊予知・災害危険度評価システムの確立	国土交通省国土技術政策総合研究所	0 円
21	古月 文志	工業ナノ粒子の調製技術の開発(液中分散系調整技術開発-分散剤の検討)	(独) 産業技術総合研究所	7,003,500 円
21	山中 康裕	「沖合域における海洋生態系モデルの高度化と水産業への温暖化影響評価技術の開発(全球低次生態系モデルを用いた温暖化シナリオ下における境界条件の算出)」	(独) 農業環境技術研究所	3,206,000 円
21	古月 文志	平成21年度地域イノベーション創出研究開発事業「カーボンナノチューブのコーティング技術による新規導電繊維の研究開発」	(財) 科学技術交流財団	3,179,085 円

21	奥山 英登志	ドコサヘキサエン酸含有ホスファチジルセリンの発酵生産技術の開発	(独) JST イノベーションプラザ北海道	2,000,000 円
21	工藤 岳	平成 21 年度地球環境研究総合推進費「気候変動に対する森林帯－高山帯エコトーンの多様性消失の実態とメカニズムの解明」	環境省地球環境局	23,205,000 円
21	山中 康裕	高解像度大気海洋結合モデルによる近未来気候変動予測に関する研究（文部科学省研究開発局と東京大学との委託業務「高解像度気候モデルによる近未来気候変動予測に関する研究」の再委託）	国立大学法人東京大学	9,999,999 円
21	山本 正伸	固体有機物測定（平成 21 年度核燃料サイクル施設安全対策技術調査（放射性廃棄物処分安全技術調査等のうち地層処分に係る地質情報データの整備））	(独) 産業技術総合研究所	997,500 円
21	藤原 正智 長谷部 文雄 山崎 孝治	平成 21 年度熱帯対流圏界面領域における水蒸気変動に関する研究委託業務	(独) 国立環境研究所	10,240,000 円
21	山中 康裕 藤井 賢彦 屋良 由美子	平成 21 年度気候変動シナリオに基づく海洋環境・水産業の未来像の抽出委託業務	(独) 国立環境研究所	13,320,000 円
21	谷本 陽一	中緯度大気海洋系 10 年スケール変動の再現性とその将来変化に関する研究	国立大学法人東京大学	9,742,000 円

3) 平成 22 年度（2010 年度）

年度	研究担当者	研究題目	機関名	受託料
22	小西 克明	金クラスターの包接化と触媒特性	(独) 科学技術振興機構	1,430,000 円
22	山中 康裕	海洋生態系将来予測のための海洋環境シミュレーション研究：海洋生態系－水産資源シミュレーション技術開発	(独) 科学技術振興機構	27,443,000 円
22	工藤 岳	気候変動に対する森林帯－高山帯エコトーンの多様性消失の実態とメカニズムの解明	環境省	20,885,000 円
22	森川正章	バイオフィルム工学による微生物のデザイン化	(独) 新エネルギー・産業技術開発機構 (NEDO)	8,538,600 円
22	藤原 正智	二酸化炭素モニタリング用超小型計測装置	矢崎総業株式会社 技術研究所	325,000 円
22	大原 雅	シーサイドパーク地区における森林環境の現況	広尾町	300,000 円
22	山本 正伸	固体有機物測定	(独) 産業技術総合研究所	997,500 円

22	山中 康裕	平成22年度気候変動シナリオに基づく海洋環境・水産業の未来像の抽出委託業務	(独) 国立環境研究所	16,840,000円
22	佐藤 友徳	我が国全体への温暖化影響の信頼性の高い定量的評価に関する研究(その1)/②影響評価研究者および政策担当者との連携とダウンスケーラの有用性の評価	国立大学法人筑波大学	8,350,000円
22	佐藤 友徳	北海道を対象とする総合的ダウンスケール手法の開発と適用	国立大学法人北海道大学大学院工学研究院	9,001,270円
22	山中 康裕	高解像度気候モデルによる近未来気候変動予測に関する研究	国立大学法人東京大学大気海洋研究所	9,999,999円
22	谷本 陽一	地球温暖化に係る政策支援と普及啓発のための気候変動シナリオに関する総合研究(その2)のうち中緯度大気海洋系10年スケール変動の再現性とその将来変化に関する研究	国立大学法人東京大学大気海洋研究所	9,903,000円
22	山中 康裕	水産分野の温暖化緩和技術開発	(独) 水産総合研究センター	10,000,000円
22	山田 幸司	さっぽろバイオクラスター構想”Bio-S”	(財) 北海道科学技術総合振興センター	22,000,000円
22	東 正剛	ヒョウの糞遺伝解析	WWF カンボジア	7,012.5 ドル
22	佐竹 暁子	花芽形成の遺伝子制御ネットワーク:一斉開花結実現象を分子レベルから解明する	国立大学法人京都大学	2,357,000円
22	佐竹 暁子	全固体ジェノタイピングおよび位置情報に基づく絶滅危惧植物固体群の持続可能性評価に関する研究	(独) 科学技術振興機構(JST)	13,000,000円

3 - 3 その他

1) GCOE 予算

①平成20年度（2008年度）

研究種目	研究代表者名：研究課題名	金額
研究拠点形成	山中 康裕：統合フィールド環境科学の教育研究拠点形成	307,970,000

②平成21年度（2009年度）

研究種目	研究代表者名：研究課題名	金額
研究拠点形成	山中 康裕：統合フィールド環境科学の教育研究拠点形成	286,416,000

③平成22年度（2010年度）

研究種目	研究代表者名：研究課題名	金額
研究拠点形成	山中 康裕：統合フィールド環境科学の教育研究拠点形成	220,320,000

2) その他の補助金

①平成20年度（2008年度）

研究種目	研究代表者名：研究課題名	金額
厚生労働科学研究	古月 文志：ナノ微粒子の体内動態可視化法の開発	800,000

②平成21年度（2009年度）

研究種目	研究代表者名：研究課題名	金額
研究者海外派遣基金 助成	山中 康裕：環境科学に関する海外パートナーと協働した若手研究者育成および国際的協同研究の推進	496,000
クラーク記念財団 助成	石崎 智美：Sagebrush(<i>Artemisia tridentata</i>)における植物間コミュニケーションと誘導防御反応メカニズムの解明	500,000
クラーク記念財団 助成	Anas, Andrea Roxanne Jocsing：シアノバクテリア由来ペプチドのプロテアーゼ阻害機構	500,000
21世紀東アジア青少年大交流計画に基づく学生交流支援事業	田中 俊逸：プログラム実施大学支援金等	2,712,800

③平成22年度（2010年度）

研究種目	研究代表者名：研究課題名	金額
研究者海外派遣基金 助成	山中 康裕：環境科学に関する海外パートナーと協働した若手研究者育成および国際的協同研究の推進	27,825,000

クラーク記念財団 助成	坂東 洋：fMRI を用いたサケ科魚類の母川記銘・回帰機構に関する嗅覚機能に関する研究	483,200
クラーク記念財団 助成	ソン エイコン：長寿遺伝子および DNA メチレーションを指標とする環境汚染化学物質及び食品添加物の新規影響評価系の構築	500,000
三井物産環境基金研 究助成	山本 正伸：別府湾海底コアの解析にもとづく 10 年スケール気候変動・レジームシフトの歴史的変遷	6,734,000
日本学生支援機構 21 世紀東アジア青少 年大交流計画に基づ くアセアン	田中 俊逸：ラボ実習とフィールド実習から学ぶ環境保全対策リーダー養成プログラム	9,531,000
優秀若手研究者海外 派遣事業	佐藤 友徳：土地被覆変化と地球温暖化による北東アジアの気候変動予測の数値実験	966,000

4 研究員・R A

4 - 1 日本学術振興会特別研究員（PD・DC2・DC1）

1) 平成20年度（2008年度）

採用 年度	資格	氏 名	研究課題	採用期間	備 考
20	DC 1	石川 由希	シロアリの社会行動をもたらす神経改変の分子機構とその進化	H20.4.1～ H23.3.31	
20	DC 1	石川 麻乃	アブラムシにおける翅多型制御機構の解明	H20.4.1～ H23.3.31	
20	DC 2	東條 卓人	植物を用いた簡便で低コストかつ高感度なステロイドホルモン一次選抜法の構築	H20.4.1～ H22.3.31	H21.3.31 付辞退
20	DC 2	木村 幹子	環境変動と交雑によるアイナメ属3種の遺伝的集団構造の変動メカニズムの解明	H20.7.1～ H22.3.31	H21.7.1 付 PD へ資格変更
20	DC 2	川合 由加	高山植物群集のフェノロジー構造と送粉系を介した生物間相互作用の関係	H20.10.1 ～ H22.3.31	グローバルCOE
20	PD	木村 幹子	環境変動と交雑によるアイナメ属3種の遺伝的集団構造の変動メカニズムの解明	H21.7.1～ H22.3.31	

2) 平成21年度（2009年度）

採用 年度	資格	氏 名	研究課題	採用期間	備 考
21	DC 1	甲山 哲生	食植性昆虫における同所的ホストレース形成	H21.4.1～ H24.3.31	
21	DC 1	後藤 寛貴	クワガタの大顎におけるサイズ制御メカニズムの解明	H21.4.1～ H24.3.31	
21	DC 2	矢澤 佳子	個体の樹冠形成過程の積算としての熱帯林3D動態とフィードバック制御	H21.4.1～ H23.3.31	
21	DC 2	野田 祐樹	金ナノ粒子集積体の構築と量子伝導挙動に関する研究	H21.4.1～ H23.3.31	
21	DC 2	布目 三夫	日本列島の二つのレフュージアが日本産哺乳類の遺伝的多様性に与えた影響の検証	H21.4.1～ H23.3.31	H22.4.1 付 PD へ資格変更・他機関所属へ
21	PD	岡田 賢祐	モデル甲虫を用いた戦いと武器形質における進化生物学的研究	H21.4.1～ H24.3.31	H22.3.31 付辞退
21	PD	林 良信	シロアリ類における遺伝的カースト決定の適応的意義	H21.4.1～ H24.3.31	

2) 平成22年度（2010年度）

採用 年度	資格	氏 名	研究課題	採用期間	備 考
22	D C 1	野間野 史 明	協同繁殖鳥類における社会ネット ワーク構造と繁殖生産性	H22.4.1～ H25.3.31	
22	D C 1	坂崎 貴俊	対流圏・成層圏における日変動現象 の統一的解明	H22.4.1～ H25.3.31	
22	D C 1	朝香 友紀 子	表現型可塑性に伴う遺伝的分化機 構の解明	H22.4.1～ H25.3.31	
22	D C 1	高尾 信太 郎	優占植物プランクトン群集の遷移に伴う大気 海洋間 Co2 フラックスの変動特性の解明	H22.4.1～ H25.3.31	
22	D C 2	石崎 智美	野外植物集団における被食防衛反応と 植物間コミュニケーションに関する研 究	H22.4.1～ H24.3.31	H23.3.25 付 PD へ資格変更
22	D C 2	寺田 千里	ニホンジカにおける局地適応の検出と 固有性の評価：屋久島個体群に注目して	H22.4.1～ H24.3.31	
22	D C 2	宮川 一志	ミジンコにおける捕食者に誘導さ れる表現型多型の分子機構の解明	H22.4.1～ H24.3.31	H23.3.25 付 PD へ資格変更
22	D C 2	根本 富美 子	硝酸蓄積硫黄酸化細菌の機能と湖沼生 態系における物質循環への関与の解明	H22.4.1～ H24.3.31	グローバルCOE
22	P D	石崎 智美	野外植物集団における被食防衛反応と 植物間コミュニケーションに関する研 究	H23.3.25 ～H 24.3.31	
22	P D	宮川 一志	ミジンコにおける捕食者に誘導さ れる表現型多型の分子機構の解明	H23.3.25 ～H 24.3.31	
22	P D	松林 圭	食草変更を主因とした適応放散の 生態的・遺伝的基盤の解明	H22.4.1～ H25.3.31	

注) いずれも当該年度に採択・資格変更許可等となった者

4 - 2 博士研究員（無給）

平成20年度（2008年度）

年度	氏 名	在籍期間（自）	在籍期間（至）
20	西村 愛子	平成22年4月1日	平成22年8月13日
20	野本 和宏	平成22年4月15日	平成23年3月31日
20	杉本 太郎	平成22年4月15日	平成23年3月31日
20	BEGUM PARVIN	平成22年4月20日	平成22年8月30日
20	小松 哲也	平成22年10月1日	平成23年3月31日
20	坂本 啓典	平成22年10月1日	平成23年3月31日
20	外山 雅大	平成22年10月1日	平成23年9月30日

20	高村 友海	平成 23 年 1 月 1 日	平成 23 年 3 月 31 日
20	ELI NUR NIRMA LA SARI	平成 23 年 2 月 1 日	平成 23 年 7 月 31 日

平成 21 年度（2009 年度）

年度	氏 名	在籍期間（自）	在籍期間（至）
21	川口 利奈	平成 21 年 4 月 1 日	平成 21 年 8 月 31 日
21	井田 崇	平成 21 年 4 月 1 日	平成 21 年 8 月 31 日
21	Geeta Khakwal	平成 21 年 4 月 1 日	平成 22 年 3 月 31 日
21	杉本 太郎	平成 21 年 4 月 10 日	平成 22 年 3 月 31 日
21	田野 千春	平成 21 年 4 月 10 日	平成 21 年 9 月 30 日
		平成 21 年 10 月 19 日	平成 22 年 3 月 31 日
21	片岡 剛文	平成 21 年 4 月 13 日	平成 21 年 6 月 30 日
21	小林 誠	平成 21 年 7 月 1 日	平成 21 年 8 月 31 日
21	于 洪文	平成 21 年 7 月 1 日	平成 21 年 8 月 31 日
21	泉 洋江	平成 21 年 7 月 1 日	平成 22 年 3 月 31 日
21	道見 康弘	平成 21 年 10 月 1 日	平成 22 年 1 月 31 日
21	辻野 昌広	平成 21 年 10 月 1 日	平成 22 年 2 月 15 日
21	松村 伸治	平成 22 年 2 月 1 日	平成 22 年 6 月 30 日

平成 22 年度（2010 年度）

年度	氏 名	在籍期間（自）	在籍期間（至）
22	松田 一希	平成 20 年 4 月 1 日	平成 21 年 3 月 31 日
22	池田 隆美	平成 20 年 4 月 1 日	平成 21 年 3 月 31 日
22	今井 眞木	平成 20 年 4 月 1 日	平成 21 年 3 月 31 日
22	寺島 元基	平成 20 年 4 月 1 日	平成 20 年 4 月 30 日
22	西濱 洋介	平成 20 年 4 月 1 日	平成 20 年 4 月 20 日
22	北西 滋	平成 20 年 4 月 1 日	平成 21 年 3 月 31 日
22	正富 欣之	平成 20 年 4 月 1 日	平成 21 年 3 月 31 日
22	西田 孝伸	平成 20 年 4 月 1 日	平成 20 年 4 月 30 日
22	安田 俊平	平成 20 年 4 月 1 日	平成 20 年 9 月 30 日
22	奥田 武弘	平成 20 年 4 月 1 日	平成 20 年 4 月 30 日
22	任 忠完	平成 20 年 10 月 1 日	平成 21 年 3 月 31 日
22	篠塚 良嗣	平成 20 年 11 月 1 日	平成 21 年 10 月 14 日

注）当該年度内に新規に受け入れが許可された者である。

4 - 3 博士研究員（有給）

	H20	H21	H22
1	大島 和裕	大島 和裕	大島 和裕
2	伊東 義兼	伊東 義兼	伊東 義兼
3	岡田 直資	七分 勇勝	増田 良帆
4	増田 良帆	坂本 洋典	坂本 洋典
5	須股 浩	須股 浩	須股 浩
6	重光 雅仁	重光 雅仁	重光 雅仁
7	屋良 由美子	屋良 由美子	屋良 由美子
8	玉村 修司	井田 崇	井田 崇
9	孫 尚鉉	孫 尚鉉	孫 尚鉉
10	矢部 暢子	矢部 暢子	矢部 暢子
11		北條 賢	佐藤 祐介
12		篠塚 良嗣	篠塚 良嗣
13		平田 貴文	平田 貴文
14			松村 伸治
15			丸山 健一
16			青木 邦弘
17			大西 祐子
18			川越 哲博
19			橋岡 豪人

4 - 4 RA

	H20	H21	H22
1	石崎 智美	Prescilla Kurien	Adiya Saruulzaya
2	宇田川 佑介	Farhana Rahman Rima	Alam A.K.M Rashidul
3	陰 泳 峻	Ghimire Motilal	Altangerel Batbold
4	小畑 貴博	椎名 佳の美	金子 賢介
5	甲斐 浩平	陰 泳 峻	Ghimire Motilal
6	川合 由加	照井 健志	斉藤 達也
7	河原 哲平	平池 友梨	佐藤 祐輔
8	Ghimire Motilal	Matahar Hossain	Sikder Tajuddin Md
9	Prescilla Kurien	Aleandra S. Popova	柴野 良太
10	古関 俊也	Saruulzaya Adiya	竹内 史子
11	椎名 佳の美	Batbold Altangerel	姜 鴻菊
12	田野 千春	Yakkara Yagnesh Raghava	照井 健志

13	譚 曉明	梅津 茜	野坂 裕一
14	布目 三夫	味岡 拓	Buranaboripan Wanvisa
15	平池 友梨	甲斐 浩平	干場 康博
16	矢澤 佳子	吉田 康平	Aleandra S. Popova
17	吉田 康平	阿形 朋子	Matahar Hossain
18	Farhana Rahman Rima	岡 佳和	Yakkara Yagnesh Raghava
19	Rudy Syah Putra	柴野 良太	熊 炫睿
20		山本 彬友	油田 照秋
21		Rudy Syah Putra	
22		Park Yu-Hyeon	

5 研究交流・国際交流

5 - 1 共同研究

平成20年度（2008年度）

統合環境科学部門

《国際共同研究》

地球環境側代表者：渡辺 悌二

相手機関：キルギス共和国山岳地域開発研究センター，タジキスタン政府森林環境省，国連大学（ボン），日本大学，信州大学，立教大学

国名：キルギス共和国，タジキスタン共和国，ドイツ連邦共和国，日本

研究課題名：「パミール山脈およびパミール・アラ山脈の持続的土地管理に関する研究」

相手機関代表者：リボル・ヤンスキー（GEF:地球環境ファシリティほか）

《国内共同研究》

地球環境側代表者：新岡 正

相手機関：札幌医科大学

研究課題名：「脳酸素動態の生理的多型性を考慮した標準化指標の研究」

地球圏科学部門

《国際共同研究》

地球環境側代表者：藤原 正智

相手機関：National Center for Atmospheric Research

国名：アメリカ合衆国

研究課題名：「大気化学-気候結合モデルを用いた熱帯対流圏界面領域における輸送・光化学過程の研究」

相手機関代表者：Andrew Gettelman

《国内共同研究》

地球環境側代表者：堀之内 武

相手機関：神戸大学，お茶の水女子大学

研究課題名：「地球データの高度利用と流通のための基盤開発」

環境生物科学部門

《国際共同研究》

地球環境側代表者：大原 雅

相手機関：Smithsonian Environmental Research Center

国名：アメリカ合衆国

研究課題名：「クローナル植物の生活史の進化」

相手機関代表者：Dennis Whigham

地球環境側代表者：佐竹 暁子

相手機関：SNSF/Systems X

国名：スイス連邦

研究課題名：「systems biology in ecosystems: exploring the mechanism of synchronized flowering by integrating molecular and and modeling」

相手機関代表者：Kentaro K Shimizu

《国内共同研究》

地球環境側代表者：東 正剛

相手機関：北海道教育大学

研究課題名：「分子生物学的手法・雄の不妊化・天敵利用による外来侵入アリ3種の防除法開発」

地球環境側代表者：東 正剛
相手機関：九州大学熱帯農学研究センター、琉球大学農学部
研究課題名：「広域分布を示すアジア産アリ類の系統地理解析によるインド・レフュージア説の検証」

地球環境側代表者：大原 雅
相手機関：上智大学
研究課題名：「植物に血縁淘汰は存在するか？」

物質機能科学部門

《国内共同研究》

地球環境側代表者：廣川 淳
相手機関：国立環境研究所、京都大学
研究課題名：「エアロゾル前駆体の実時間計測による二次有機エアロゾル生成過程の解明」

平成 21 年度（2009 年度）

統合環境科学部門

《国際共同研究》

地球環境側代表者：渡辺 悌二
相手機関：キルギス共和国山岳地域開発研究センター、タジキスタン政府森林環境省、国連大学（ボン）、日本大学、信州大学、立教大学
国名：キルギス共和国、タジキスタン共和国、ドイツ連邦共和国、日本
研究課題名：「パミール山脈およびパミール・アラ山脈の持続的土地管理に関する研究」
相手機関代表者：リボル・ヤンスキー（GEF:地球環境ファシリティほか）

地球圏科学部門

《国際共同研究》

地球環境側代表者：藤原 正智
相手機関：National Center for Atmospheric Research
国名：アメリカ合衆国
研究課題名：「大気化学-気候結合モデルを用いた熱帯対流圏界面領域における輸送・光化学過程の研究」
相手機関代表者：Andrew Gettelman

《国内共同研究》

地球環境側代表者：堀之内 武
相手機関：神戸大学、お茶の水女子大学
研究課題名：「地球データの高度利用と流通のための基盤開発」

環境生物科学部門

《国際共同研究》

地球環境側代表者：大原 雅
相手機関：University of California, Davis 校
国名：アメリカ合衆国
研究課題名：「植物の被食防衛反応における植物間コミュニケーション」
相手機関代表者：Rick Karban

地球環境側代表者：東 正剛
相手機関：台湾大学国立ヒアリ台湾研究センター
国名：台湾
研究課題名：「分子生物学的手法・雄の不妊化・天敵利用による外来侵入アリ 3 種の防除法開発」
相手機関代表者：Chiun-Cheng Ko

地球環境側代表者：東 正剛
相手機関：USDA（アメリカ農務省）
国名：アメリカ合衆国
研究課題名：「分子生物学的手法・雄の不妊化・天敵利用による外来侵入アリ 3 種の防除法開発」
相手機関代表者：Sanford D. Potter

《国内共同研究》

地球環境側代表者：大原 雅

相手機関：(独)森林総合研究所北海道支所

研究課題名：「長期モニタリングデータと統計遺伝学的解析による植物個体群の存続可能性の定量的評価と生態系の持続的保全」

地球環境側代表者：大原 雅

相手機関：上智大学

研究課題名：「長期モニタリングデータと統計遺伝学的解析による植物個体群の存続可能性の定量的評価と生態系の持続的保全」

地球環境側代表者：東 正剛

相手機関：北海道教育大学

研究課題名：「分子生物学的手法・雄の不妊化・天敵利用による外来侵入アリ 3 種の防除法開発」

地球環境側代表者：東 正剛

相手機関：九州大学熱帯農学研究センター、琉球大学農学部

研究課題名：「広域分布を示すアジア産アリ類の系統地理解析によるインド・レフュージア説の検証」

物質機能科学部門

《国内共同研究》

地球環境側代表者：廣川 淳

相手機関：国立環境研究所，京都大学

研究課題名：「エアロゾル前駆体の実時間計測による二次有機エアロゾル生成過程の解明」

平成 22 年度（2010 年度）

統合環境科学部門

《国際共同研究》

地球環境側代表者：渡辺 悌二

相手機関：キルギス共和国山岳地域開発研究センター，タジキスタン政府森林環境省，国連大学（ボン），日本大学，信州大学，立教大学

国名：キルギス共和国，タジキスタン共和国，ドイツ連邦共和国，日本

研究課題名：「パミール山脈およびパミール・アラ山脈の持続的土地管理に関する研究」

相手機関代表者：リボル・ヤンスキー（GEF:地球環境ファシリティほか）

地球環境側代表者：渡辺 悌二

相手機関：The Mountain Institute テキサス大学

国名：アメリカ合衆国

研究課題名：「ヒマラヤの氷河湖決壊洪水に関する研究」

相手機関代表者：アルトン・バイヤース（米国 NSF ほか）

《国内共同研究》

地球環境側代表者：新岡 正

相手機関：札幌医科大学

研究課題名：「高次脳機能の修飾刺激応答の個体差とその影響要因の研究」

地球圏科学部門

《国際共同研究》

地球環境側代表者：谷本 陽一

相手機関：ハワイ大学国際太平洋研究センター

国名：アメリカ合衆国

研究課題名：「低気圧の発達・維持過程における水温前線の影響及びその海洋表層へのフィードバック」

相手機関代表者：Shang-Ping XIE

地球環境側代表者：長谷部 文雄
相手機関：LAPAN(国立宇宙航空庁)
国名：インドネシア共和国
研究課題名：「Soundings of Ozone and Water in the Equatorial Region」
相手機関代表者：Afif Budiyo

《国内共同研究》

地球環境側代表者：堀之内 武
相手機関：神戸大学, お茶の水女子大
研究課題名：「地球データの高度利用と流通のための基盤開発」

地球環境側代表者：谷本 陽一
相手機関：北海道大学 低温科学研究所
研究課題名：「地球環境と大気・陸面・海洋の相互作用解明 低気圧の発達・維持過程における水温前線の影響」

環境生物科学部門

《国際共同研究》

地球環境側代表者：大原 雅
相手機関：University of California, Davis 校
国名：アメリカ合衆国
研究課題名：「植物の被食防衛反応における植物間コミュニケーション」
相手機関代表者：Rick Karban

地球環境側代表者：工藤 岳
相手機関：University of Calgary
国名：カナダ
研究課題名：「動物媒植物に見られる交配システム変異の進化生態学的研究」

《国内共同研究》

地球環境側代表者：大原 雅
相手機関：(独)森林総合研究所北海道支所
研究課題名：「長期モニタリングデータと統計遺伝学的解析による植物個体群の存続可能性の定量的評価と生態系の持続的保全」

地球環境側代表者：大原 雅
相手機関：上智大学
研究課題名：「長期モニタリングデータと統計遺伝学的解析による植物個体群の存続可能性の定量的評価と生態系の持続的保全」

地球環境側代表者：東 正剛
相手機関：北海道教育大学
研究課題名：「分子生物学的手法・雄の不妊化・天敵利用による外来侵入アリ 3 種の防除法開発」

地球環境側代表者：東 正剛
相手機関：九州大学熱帯農学研究センター、琉球大学農学部
研究課題名：「広域分布を示すアジア産アリ類の系統地理解析によるインド・レフュージア説の検証」

物質機能科学部門

《国内共同研究》

地球環境側代表者：廣川 淳
相手機関：国立環境研究所, 京都大学
研究課題名：「エアロゾル前駆体の実時間計測による二次有機エアロゾル生成過程の解明」

5 - 2 各種研究会

平成 20 年度（2008 年度）

地球圏科学部門

吉川 久幸, 第11回北大-ソウル大シンポジウム分科会「生態地球圏システム劇変の予測と回避」2008年11月7日,
北大地球環境にて

環境生物科学部門

鈴木 仁, 遺伝学談話会 日本遺伝学会北海道支部主催 2008年5月9日, 60名

物質機能科学部門

環境物質科学セミナー, 2008 年 12 月 15 日, 40 人

平成 21 年度（2009 年度）

地球圏科学部門

堀之内 武, データ科学ワークショップ, 2009年8月20日, 約30名

堀之内 武, 熱帯気象研究会, 2009年9月29-30日, 約40名

吉川 久幸, 第12回北大-ソウル大シンポジウム分科会「気候変動と地球生態圏」, 2009年11月20日, ソウル大学地球環境科学研究科にて

環境生物科学部門

三浦 徹, 表現型可塑性の生物学, 2009 年 11 月 14-15 日, 50 名

平成 22 年度（2010 年度）

統合環境科学部門

平田 貴文, Workshop for ocean colour data collection, distribution and utilization for East Asian coastal waters, 2010年12月18-19日, 約50名

沖野 龍文, 北海道海洋生物科学シンポジウム, 2010年11月5日, 参加人数: 70名

環境生物科学部門

大原 雅, 高山植物保護ネットワーク・市民フォーラム, 2010 年 11 月 27 日, 160 名

工藤 岳, 北海道大学サステナビリティ・ウィーク 2010 公開シンポジウム「北の山で何が起きているのか: 変容の持続的観測」, 2010 年 10 月 28 日, 60 名

高田 壮則, International symposium on new topics in mathematical ecology, 2010年9月13-14日, 35名

5 - 3 サバティカル研修

【平成20年度】

氏 名	職 名	所 属	期 間
工藤 岳	准教授	環境生物科学部門（陸域生態学分野）	平成20年6月1日～平成21年1月31日

【平成21年度】

氏 名	職 名	所 属	期 間
大原 雅	教授	環境生物科学部門（生態保全学分野）	平成21年6月1日～平成22年1月31日
山崎 健一	准教授	環境生物科学部門（環境分子生物学分野）	平成21年9月1日～平成22年2月28日

【平成22年度】

氏 名	職 名	所 属	期 間
沖野 龍文	准教授	統合環境科学部門（探索計測分野）	平成22年4月1日～平成22年9月30日
藤原 正智	准教授	地球圏科学部門（気候力学分野）	平成22年5月1日～平成22年12月31日

5 - 4 外国人研究者の来訪

平成20年度（2008年度）

アメリカ合衆国，ハワイ大学国際太平洋研究センター，教授，Kelvin RICHARDS，2008年9月28日-10月4日（地球圏科学部門，谷本陽一）

大韓民国，ソウル大学，教授，Kang-Kun Lee，2008年11月6日-8日（地球圏科学部門，吉川久幸）

大韓民国，ソウル大学，教授，Guebuem Kim，2008年11月6日-8日（地球圏科学部門，吉川久幸）

大韓民国，全南大学，准教授，In Soen Kim，2008年8月11日（環境生物科学部門，森川正章）

オーストラリア，Australian National Wildlife Collection，CSIRO Sustainable Ecosystems，Research Fellow，Dr. Ken Aplin，2008年10月6-29日（環境生物科学部門，鈴木 仁）

アメリカ合衆国，バルパライソ大学，准教授，Gary A. Morris，平成20年7～9月（物質機能科学部門）

大韓民国，Yonsei 大学，教授，Myongsoo Lee，平成20年12月（物質機能科学部門）

平成21年度（2009年度）

アメリカ合衆国，オハイオ州立大学バード極地研究センター，上級研究員，Leonid Polyak，2009年7月9日-21日（地球圏科学部門，山本正伸）

インドネシア共和国，インドネシア科学院，研究員，Awit Suwito，2009年6-9月（環境生物科学部門，木村正人）

マレーシア，マラヤ大学，教授，Irene Tan，2009年7月26日（環境生物科学部門，森川正章）

マレーシア，マラヤ大学，准教授，Annie Tan，2009年7月26日（環境生物科学部門，森川正章）

台湾，国立台湾大学，准教授，Chunche Chang，2009年6月6-9日（環境生物科学部門，三浦 徹）

アメリカ合衆国，バルパライソ大学，准教授，Gary A. Morris，平成21年7～9月（物質機能科学部門）

平成22年度（2010年度）

バングラデシュ人民共和国, Jahangirnagar University, Professor, 2010年5月18-21日(統合環境科学部門, 田中俊逸)

ウクライナ, National University of Life and Environmental Sciences of Ukraine, Professor, Posudin Iurii, 2010年6月5-19日(統合環境科学部門, 田中俊逸)

オーストラリア, タスマニア大学, 教授, Andrew McMinn, 2010年5月10-11日(地球圏科学部門, 吉川久幸)

インドネシア共和国, インドネシア科学院, 研究員, Awit Suwito, 2010年12月-2011年3月(環境生物科学部門, 木村正人)

ベトナム社会主義共和国, Institute of Biotechnology Vietnamese Academy of Science and Technology, Major advisor of D1 student, Le Thi Nhi-Cong, 2010年8月2日-9月11日(環境生物科学部門, 森川正章)

ベルギー, Free University of Brussels, 准教授, Nicolas J. Verreken, 2010年9月13-20日(環境生物科学部門, 大原 雅)

イスラエル, University of Haifa, 教授, Amots Dafni, 2010.0913-20日(環境生物科学部門, 大原 雅)

中華人民共和国, 昆明動物学研究所 Kunming Zoological Institute, the Chinese Academy of Sciences, Professor Dr. Xue-Long Jiang, 2010年7月29日-8月22日(環境生物科学部門, 鈴木 仁)

アメリカ合衆国, ノースカロライナ州立大学, 教授, Ed Valgo, 2010年3月21-24日(環境生物科学部門, 三浦 徹)

イギリス, University of Oxford, United Kingdom, Research fellow, Andy Gardner, 2010年9月12-22日(環境生物科学部門, 高田壮則)

イギリス, John Innes Centre, Norwich, United Kingdom, Professor, Veronica Grieneisen, 2010年9月12-22日(環境生物科学部門, 高田壮則)

5 - 5 大学間・部局間協定

国際交流（大学間・部局間交流協定）

大学間交流協定・部局間交流協定

年月日	種別	協定先	備考
平成5年7月14日	部局間	アメリカ合衆国イリノイ大学大学院シカゴ校	
平成7年3月16日	部局間	インドネシア共和国パランカラヤ大学	
平成8年2月9日	部局間	連合王国ノッチンガム大学	(～平成14年2月6日)
平成9年10月17日	部局間	ネパール連邦民主共和国トリブバン大学科学技術研究科	
平成9年11月17日	部局間	中華人民共和国蘭州大学資源環境学院	
平成10年1月16日	部局間	マレーシアサバ大学科学技術研究科	(～平成15年1月15日)
平成18年8月26日	大学間	インドネシア共和国パランカラヤ大学	
平成19年6月13日	大学間	スイス連邦工科大学チューリッヒ校	
平成20年7月31日	部局間	中華人民共和国廈門大学海洋科学・環境科学院	
平成20年10月1日	部局間	パキスタン・イスラム共和国カラチ大学	
平成20年12月1日	部局間	ロシア極東地質学研究所	
平成20年12月2日	部局間	ロシア科学アカデミーシベリア支部・寒冷圏生物研究所	
平成20年12月3日	部局間	ロシア連邦サハ共和国ヤクーツク国立大学	
平成20年12月11日	部局間	インドネシアイスラム大学	
平成21年2月18日	部局間	モンゴル科学アカデミー地理学研究所	
平成21年2月18日	部局間	モンゴル国立大学生態学研究科	
平成21年2月19日	部局間	モンゴル国家気象水文環境監視省水文気象研究所	
平成22年2月1日	部局間	ロシア科学アカデミーシベリア支部メリニコフ永久凍土研究所	
平成22年2月1日	部局間	ロシア科学アカデミーシベリア支部・北方先住民族研究所	
平成22年10月24日	大学間	ネパール連邦民主共和国トリブバン大学	
平成22年10月29日	大学間	中華人民共和国東南大学	
平成22年12月13日	部局間	オランダ王国自由大学	
平成23年1月6日	部局間	ロシア連邦チュメニ石油ガス大学 及び ロシア科学アカデミーチュメニサイエンスセンター	

5 - 6 国際的な委員会等の委員

平成20年度（2008年度）

地球圏科学部門

谷本 陽一, Journal of Climate (American Meteorological Society), Associate Editor

藤原 正智, GCOS/AOPC, Working Group on Atmospheric Reference Observations (WG-ARO for GRUAN), Member

堀之内 武, International Commission on the Middle Atmosphere

山本 正伸, Integrated Ocean Drilling Program, Curatorial Advisory Board member

環境生物科学部門

大原 雅, Plant Species Biology誌編集委員長

森川 正章, Foreign Experts of Higher Education Commission, Pakistan

平成21年度（2009年度）

地球圏科学部門

鈴木 光次, European Geosciences Union（欧州地球科学連合）, Biogeosciences 誌編集委員

谷本 陽一, Journal of Climate (American Meteorological Society), Associate Editor

藤原 正智, GCOS/AOPC, Working Group on Atmospheric Reference Observations (WG-ARO for GRUAN), Member

堀之内 武, International Commission on the Middle Atmosphere

山本 正伸, Integrated Ocean Drilling Program, Curatorial Advisory Board member

環境生物科学部門

大原 雅, Plant Species Biology誌編集委員長

佐竹 暁子, Faculty of 1000評価委員

森川 正章, Foreign Experts of Higher Education Commission, Pakistan

平成22年度（2010年度）

地球圏科学部門

鈴木 光次, European Geosciences Union（欧州地球科学連合）, Biogeosciences 誌編集委員

藤原 正智, GCOS/AOPC, Working Group on Atmospheric Reference Observations (WG-ARO for GRUAN), Member

堀之内 武, International Commission on the Middle Atmosphere

山本 正伸, Integrated Ocean Drilling Program, Curatorial Advisory Board member

山本 正伸, Integrated Ocean Drilling Program, Science Steering and Evaluation Panel member

環境生物科学部門

大原 雅, Plant Species Biology誌編集委員長

甲山 隆司, INTECOL 2013 (London), International Science Committee

佐竹 暁子, Faculty of 1000評価委員

鈴木 仁, Acta Theriologica, Associate Editor

森川 正章, Foreign Experts of Higher Education Commission, Pakistan

三浦 徹, Journal of Experimental Zoology A 編集委員

Ⅲ 教育活動

1 学部での講義・演習

平成20年度（2008年度）

統合環境科学部門

講義名	コマ数	担当教員
基礎化学 1	3	田中俊逸(1), 豊田和弘(2)
基礎化学 2	2	沖野龍文
一般教育演習「湖と火山と海藻と森林の自然」	1	本村泰三
国際交流科目「HUSTEP 地球環境科学入門」	1/5	露崎史朗
自然科学実験	6	沖野龍文(2), 田中俊逸(2), 豊田和弘(2)

地球圏科学部門

講義名	コマ数	担当教員
一般教育演習 海と空の流れの科学(全学教育科目)	1	久保川厚, 藤原正智, 水田元太
気候変動を科学する(全学教育科目)	0.7	長谷部文雄, 山崎孝治, 山中康裕, 谷本陽一, 藤原正智, 堀之内武
基礎物理学 I(全学教育科目)	1	久保川厚
基礎地学 II(全学教育科目)	1	谷本陽一
巡る空と海(理学部共通科目)	0.4	長谷部文雄
地球環境学(理学部専門科目)	1	杉本敦子, 南川雅男, 山本正伸, 長尾誠也
地球惑星科学実験 II(理学部専門科目)	0.5	山本正伸, 入野智久, 長尾誠也
自然科学実験(全学教育科目)	0.5	山本正伸, 長尾誠也

環境生物科学部門

講義名	コマ数	担当教員
科学論文演習	0.4	森川正章
環境生物学 3	2	大原 雅, 鈴木 仁, 三浦 徹
環境生物学 I	2	森川正章
環境と人間「生物の多様性」	0.1	大原 雅
極限微生物学入門	0.4	森川正章
系統分類学 2	2	鈴木 仁
ゲノム科学 II	1	山崎健一
生態系における共生と多様性	0.5	大原 雅
生物科学方法論	1	鈴木 仁
生物学 I	6	森川正章(2), 奥山英登志, 山崎健一
生物学 II	2	大原 雅
生物学 III	2	東 正剛
生物の多様性	1	鈴木 仁

北海道の農業	0.4	大原 雅
理科教育法 2	0.5	大原 雅
一般教育演習	0.4	奥山英登志
科学英語	0.5	奥山英登志
環境生物学	1	奥山英登志
環境生物学 II	1	山崎健一
環境生物学 III	0.3	木村正人
基礎生物学	0.7	木村正人
基礎生物学 2	4	鈴木 仁, 三浦 徹
細胞生化学	1	奥山英登志
生態における共生と多様性	1	木村正人
生態学	1	三浦 徹
生態学の基礎	1	木村正人, 大原 雅
分子遺伝学 I	0.7	木村正人
遺伝学実習	1	吉田磨仁
自然科学実験	1.4	山崎健一(0.4), 鈴木 仁(1)
環境生物学実習	3	森川正章(1), 山崎健一, 奥山英登志
生態学実習	2	大原 雅
基礎実験	2	奥山英登志
フィールド体験研修「海と湖と火山と森林の自然」	0.3	春木雅寛

物質機能科学部門

講義名	コマ数	担当教員
一般教育演習（全学教育科目）	1	嶋津克明
総合科目－環境と人間（全学教育科目）	1	神谷裕一
基礎化学 I（全学教育科目）	11	中村 博, 嶋津克明, 田中俊逸, 古月文志, 吉田登, 廣川 淳, 神谷裕一, 川口俊一, 豊田和弘
基礎化学 II（全学教育科目）	6	坂入信夫, 松田冬彦, 小西克明, 山田幸司, 沖野龍文
生命有機化学（理学部生物科学科高分子機能学分野）	1	坂入信夫
自然科学実験（全学教育科目）	20	中村 博, 嶋津克明, 坂入信夫, 松田冬彦, 小西克明, 田中俊逸, 古月文志, 吉田登, 廣川淳, 神谷裕一, 山田幸司, 川口俊一, 豊田和弘, 沖野龍文

平成 21 年（2009 年）

統合環境科学部門

講義名	コマ数	担当教員
一般教育演習「湖と火山と海藻と森林の自然」	1	本村泰三
一般教育演習「身近な環境問題を考えよう」	1	細川敏幸
一般教育演習「エコキャンパス・植物編」	1/5	高橋英樹
基礎化学 1	3	田中俊逸(1), 豊田和弘(2)
基礎化学 2	2	沖野龍文
国際交流科目「HUSTEP 地球環境科学入門	1/5	露崎史朗
自然科学実験	2	沖野龍文(2), 田中俊逸(2), 豊田和弘(2)

地球圏科学部門

講義名	コマ数	担当教員
一般教育演習 海と空の流れの科学(全学教育科目)	1	久保川厚, 藤原正智, 水田元太
気候変動を科学する(全学教育科目)	0.7	長谷部文雄, 山崎孝治, 山中康裕, 谷本陽一, 藤原正智, 堀之内武
化学でみる大気と海の環境(全学教育科目)	1	吉川久幸, 鈴木光次, 山下洋平, 亀山宗彦
基礎物理学 I(全学教育科目)	1	堀之内武
基礎地学 II(全学教育科目)	1	藤原正智
巡る空と海(理学部共通科目)	0.8	長谷部文雄, 久保川厚
地球環境学(理学部専門科目)	1	杉本敦子, 南川雅男, 山本正伸, 山下洋平
地球惑星科学実験 II(理学部専門科目)	0.4	山本正伸, 入野智久
自然科学実験(全学教育科目)	0.5	山本正伸

環境生物科学部門

講義名	コマ数	担当教員
環境生物学 3	2	大原 雅, 鈴木 仁, 三浦 徹
環境生物学 I	2	森川正章
環境と人間「生物の多様性」	0.1	大原 雅
極限微生物学入門	0.4	森川正章
系統分類学 2	2	鈴木 仁
ゲノム科学 II	1	山崎健一
生態系における共生と多様性	0.5	大原 雅
生物科学方法論	1	鈴木 仁
生物学 I	6	森川正章(2), 奥山英登志, 山崎健一
生物学 II	2	大原 雅

生物学Ⅲ	2	東 正剛
生物の多様性	1	鈴木 仁
北海道の農業	0.4	大原 雅
一般教育演習	0.4	奥山英登志
科学英語	0.5	奥山英登志
環境生物学	1	奥山英登志
環境生物学Ⅱ	1	山崎健一
環境生物学Ⅲ	0.3	木村正人
基礎生物学	0.7	木村正人
基礎生物学2	4	鈴木 仁, 三浦 徹
分子遺伝学Ⅰ	0.7	木村正人
細胞生化学	1	奥山英登志
生態における共生と多様性	1	木村正人
生態学	1	三浦 徹
生態学の基礎	0.9	木村正人(0.4), 大原 雅(0.5)
生物科学研究実習	0.5	山崎健一
環境生物学実習	2	山崎健一, 奥山英登志
フィールド体験研修「海と湖と火山と森林の自然」	0.3	春木雅寛
自然科学実験	1.4	鈴木 仁(1), 山崎健一(0.4),
生態学実習	2	大原 雅
基礎実験	2	奥山英登志
遺伝学実習	1	吉田磨仁
環境生物学実習	1	森川正章

物質機能科学部門

講義名	コマ数	担当教員
一般教育演習（全学教育科目）	2	嶋津克明
総合科目－環境と人間（全学教育科目）	1	神谷裕一
基礎化学Ⅰ（全学教育科目）	11	中村 博, 嶋津克明, 田中俊逸, 古月文志, 吉田 登, 廣川 淳, 神谷裕一, 川口俊一, 豊田和弘
基礎化学Ⅱ（全学教育科目）	6	坂入信夫, 松田冬彦, 小西克明, 山田幸司, 沖野龍文
生命有機化学（理学部生物科学科高分子機能学分野）	1	坂入信夫
自然科学実験（全学教育科目）	20	中村 博, 嶋津克明, 坂入信夫, 松田冬彦, 小西克明, 田中俊逸, 古月文志, 吉田登, 廣川淳, 神谷 裕一, 山田幸司, 川口俊一, 豊田 和弘, 沖野龍文

平成22年（2010年）

統合環境科学部門

講義名	コマ数	担当教員
一般教育演習「湖と火山と海藻と森林の自然」	1	本村泰三
一般教育演習「身近な環境問題を考えよう」	1	細川敏幸
一般教育演習「エコキャンパス・植物編」	1/5	高橋英樹
基礎化学1	2	田中俊逸(1), 豊田和弘(1)
基礎化学	21	沖野龍文
国際交流科目「HUSTEP 地球環境科学入門	1/5	露崎史朗
国際交流科目「HUSTEP 地球環境科学入門」	90分 x 3	豊田和弘
自然科学実験	4	田中俊逸(2), 豊田和弘(2)

地球圏科学部門

講義名	コマ数	担当教員
一般教育演習 海と空の流れの科学(全学教育科目)	1	久保川厚, 水田元太
気候変動を科学する(全学教育科目)	0.7	長谷部文雄, 山崎孝治, 山中康裕, 谷本陽一, 藤原正智, 堀之内武
変わりゆく地球環境(全学教育科目)	1	杉本敦子, 南川雅男, 山本正伸, 山下洋平, 入野智久
化学でみる大気と海の環境(全学教育科目)	1	吉川久幸, 鈴木光次, 山下洋平, 亀山宗彦
基礎物理学 I(全学教育科目)	1	堀之内武
基礎地学 II(全学教育科目)	1	谷本陽一
巡る空と海(理学部共通科目)	0.4	長谷部文雄
地球環境学(理学部専門科目)	1	杉本敦子, 南川雅男, 山本正伸, 山下洋平
地球惑星科学実験 II(理学部専門科目)	0.4	山本正伸, 入野智久
自然科学実験(全学教育科目)	0.5	山下洋平, 山本正伸

環境生物科学部門

講義名	コマ数	担当教員
科学論文演習	0.4	森川正章
環境生物学3	2	大原 雅, 鈴木 仁, 三浦 徹
環境生物学I	2	森川正章
環境生物学III	1.3	鈴木 仁(1), 木村正人(0.3)
環境と人間「生物の多様性」	0.1	大原 雅
極限微生物学入門	0.4	森川正章
系統分類学2	2	鈴木 仁

ゲノム科学 II	1	山崎健一
生態系における共生と多様性	0.5	大原 雅
生物学 I	4	森川正章, 山崎健一
生物学 II	3	大原 雅(2), 鈴木 仁(1)
生物の多様性	1	鈴木 仁
多様性生物学方法論	1	鈴木 仁
北海道の農業	0.4	大原 雅
一般教育演習	0.1	山崎健一
環境生物学 II	1	山崎健一
基礎生物学	0.7	木村正人
基礎生物学 2	2	三浦 徹
生態における共生と多様性	0.7	木村正人
生態学	0.7	三浦 徹
フィールド体験研修「海と湖と火山と森林の自然」	0.3	春木雅寛
自然科学実験	1.4	鈴木 仁, 山崎健一(0.4)
遺伝学実習	1	吉田磨仁
生態学実習	2	大原 雅
環境生物学実習	3	山崎健一(2), 森川正章(1)
生態学の基礎	1	木村正人, 大原雅
生物科学研究実習	0.5	山崎健一
分子遺伝学 I	0.7	木村正人

物質機能科学部門

講義名	コマ数	担当教員
一般教育演習（全学教育科目）	2	嶋津克明
総合科目－環境と人間（全学教育科目）	1	神谷裕一
基礎化学 I（全学教育科目）	11	中村 博, 嶋津克明, 田中俊逸, 古月文志, 吉田 登, 廣川淳, 神谷裕一, 川口俊一, 豊田和弘
基礎化学 II（全学教育科目）	6	坂入信夫, 松田冬彦, 小西克明, 山田幸司, 沖野龍文
生命有機化学（理学部生物科学科高分子機能学分野）	1	坂入信夫
自然科学実験（全学教育科目）	20	中村 博, 嶋津克明, 坂入信夫, 松田冬彦, 小西克明, 田中俊逸, 古月文志, 吉田登, 廣川 淳, 神谷裕一, 山田幸司, 川口俊一, 豊田和弘, 沖野龍文

2 卒業研究等指導

平成20年度（2008年度）

地球圏統合環境科学部門

指導教員：杉本 敦子 人数：2人

指導教員：山崎 孝治 人数：2人

環境生物科学部門

指導教員：山崎 健一 人数：1人

指導教員：奥山英登志 人数：2人

指導教員：森川 正章 人数：2人

指導教員：大原 雅 人数：2人

指導教員：鈴木 仁 人数：2人

指導教員：三浦 徹 人数：2人

物質機能科学部門

指導教員：坂入信夫 人数：1人

平成21年度（2009年度）

地球圏統合環境科学部門

指導教員：杉本 敦子 人数：2人

指導教員：山崎 孝治 人数：1人

指導教員：山本 正伸 人数：2人

環境生物科学部門

指導教員：山崎 健一 人数：2人

指導教員：奥山英登志 人数：2人

指導教員：森川 正章 人数：2人

指導教員：大原 雅 人数：2人

指導教員：鈴木 仁 人数：2人

指導教員：三浦 徹 人数：2人

物質機能科学部門

指導教員：坂入 信夫 人数：1人

平成22年度（2010年度）

地球圏統合環境科学部門

指導教員：杉本 敦子 人数：2人

指導教員：山本 正伸 人数：2人

指導教員：堀之 内武 人数：1人

指導教員：谷本 陽一 人数：2人

環境生物科学部門

指導教員：山崎 健一 人数：1人

指導教員：森川 正章 人数：2人

指導教員：大原 雅 人数：2人

指導教員：鈴木 仁 人数：2人

指導教員：三浦 徹 人数：2人

物質機能科学部門

指導教員：坂入信夫 人数：1人

3 研究生受け入れ状況

平成20年度	18名
平成21年度	15名
平成22年度	15名

4 インターンシップ

平成20年度	4名
平成21年度	4名
平成22年度	1名

5 大学院生数

平成20年度

	修士課程	博士後期課程	特別研究生
統合環境科学部門	58名	30名	2名
地球圏科学部門	38名	26名	0名
環境生物科学部門	44名	20名	1名
物質機能科学部門	27名	8名	0名

平成21年度

	修士課程	博士後期課程	特別研究生
統合環境科学部門	70名	32名	5名
地球圏科学部門	35名	31名	0名
環境生物科学部門	50名	20名	0名
物質機能科学部門	27名	6名	0名

平成22年度

	修士課程	博士後期課程	特別研究生
統合環境科学部門	56名	30名	7名
地球圏科学部門	38名	32名	0名
環境生物科学部門	36名	24名	1名
物質機能科学部門	28名	7名	0名

6 研究指導受託学生

平成20年度	6名
平成21年度	0名
平成22年度	13名

7 非常勤講師

	H20	H21	H22
1	田中（室工大）	山本（山形大）	森川（広島大）
2	小野（上智大）	乗木（東海大）	入野（東海大）
3	露崎（道教育大）	渡邊悌二（弘前大）	工藤（札医大）
4	豊田（放送大）	久保（京大）	工藤（京都大）
5	堀之内（京都大）	入野（東海大）	谷本（九州大）
6	東（道教育大）	工藤（札医大）	小野（札幌市立大）
7	渡辺豊（長崎大）	田中（東海大）	坂入（藤女子大）
8	田中（道教育大）	久保川（九州大）	田中（室工大）
9	藏崎（道教育大）	杉本（熊本大）	長谷部（九州大）
10	入野（東海大）	小野（札幌市立大）	春木（北海学園大）
11	乗木（京都大）	春木（北海学園大）	春木（放送大学学園）
12	吉川（東北大）	田中（室工大）	小野（上智大）
13	春木（北海学園大）	小野（上智大）	高田（東京大）
14		谷本（筑波大）	露崎（道教育大）
15		露崎（道教育大）	東（大阪市立大）
16		高田（明治大）	田中（道教育大）
17		東（道教育大）	

